

土器山(八天山)コース

神奈備形の山容の山で、火の神カグツチを祭神とし、天狗の住む山・信仰の山とされています。江戸時代には、八天信仰の山として栄え、多くの人々の信仰を集めていました。麓に下宮の八天神社が、中腹に中宮の菩提寺が、山頂直下には神の依代である巨岩の磐座があり上宮とされています。修験道の霊場としても栄え、中腹には覗きの行場である「親不孝岩」が、上宮の磐座では土器占いや胎内くぐりの行が行われていました。

土器山の名称は、上宮の磐座での土器占いにより多数の素焼きの皿が残されていたことによります。

起点 仁比山公園～終点 仁比山公園
行程 約4.0km

仁比山公園

↓仁比山公園を出て左折し八天神社へ

②八天神社(下宮)③八天神社鳥居

④八天神社下宮の石灯籠

⑤丁石(初丁)⑥八天神社下宮の鳥居

↓鳥居をくぐり、中宮菩提寺への登山道へ。途中の登山道は、浸食により岩盤が露出して、非常に滑りやすく、急傾斜となります。

⑦丁石(十丁)

↓是より約100mほどで、中宮菩提寺へ

⑧丁石(十一丁)

↓約30mで菩提寺へ

⑨中宮 菩提寺⑩磨崖仏⑪中宮菩提寺の石灯籠

⑫大乘妙典一字一石塔⑬菩提寺城跡⑭丁石(十三丁)

↓中宮菩提寺より親不孝岩までは、ルートの中で最も傾斜がきつく、浸食のためV字状の道となっています。安全に気を付けて登ってください。

⑮親不孝岩(東側は、断崖絶壁です。転落注意)

↓登山道に戻り、上宮磐座へ

⑯上宮 磐座

↓山頂へは、約5分で着きます。

①土器山 山頂

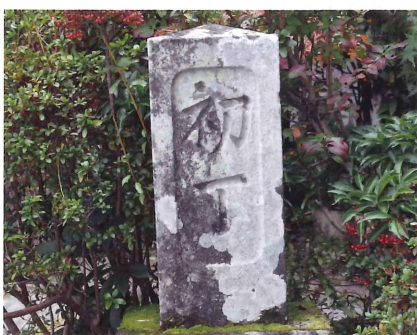
↓帰りは、登りと同じ道を下ってください。下りは転倒しやすく滑りやすいですので、充分ご注意ください。

②八天神社(下宮)

↓八天神社より左折し仁比山公園へ

仁比山公園

注意:土器山の登山道は急傾斜で滑りやすいです。ご注意ください。



どきやま
①土器山(八天山)

標高430m。東から見る山容は、甘南備形で古くから信仰の山とされています。土器山の名称は、山頂直下の上宮で行われた土器占いに由来します。

はつてんじんじや げぐう
②八天神社(下宮)

土器山をご神体とし、火の神カグツチを祭神とする八天狗信仰の下宮として鎮座しています。肥前の八天狗信仰の一つで修験道の霊場でした。

はつてんじんじや とりい
③八天神社の鳥居

社殿前に立つ鳥居で、元は脊振町一番ヶ瀬に在った高良大明神の鳥居で、天保5年(1834)の銘があります。昭和35年(1960)に親王御成婚記念に移設建立されています。

はつてんじんじやげぐう いしとうろう
④八天神社下宮の石灯籠

八天神社の鳥居前に建つ石灯籠で、宝永5年(1708)に16名の朝日村講中により奉納されています。

ちようせき
⑤丁石(初丁)

下宮より上宮に至る距離を示す丁石です。下宮には出発点を表す「初丁」と彫られた丁石が立っています。この丁石は、明治11年(1878)に建立されています。

はつてんじんじやげぐう とりい
⑥八天神社下宮の鳥居

上宮への参道入口に立つ鳥居です。この鳥居は、志波屋と小淵村により小淵村にあった廣門神社に奉納された鳥居で、移転され八天神社に建立されています。



ちようせき
⑦丁石(十丁)

中宮菩提寺へ至る登山道(参道)の右上の自然石に「十丁」と彫られています。下宮より約1kmの距離を表しています。

ちようせき
⑧丁石(十一丁)

中宮菩提寺に立つ丁石で、「十一丁」と彫られています。正面左に年号があり、宝永4年(1704)に建立されています。一丁は約109mで計算すると1.2kmの距離となります。

ちようぐう ほだいじ
⑨中宮 菩提寺

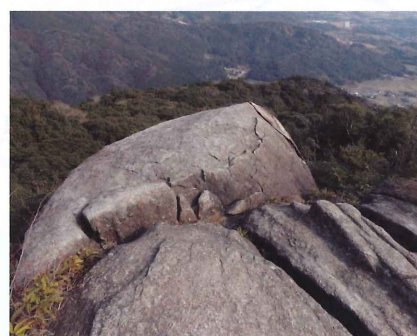
土器山中腹に位置する中宮です。尾根上の平坦部に位置し、「不空羂索観音」が据られた磨崖仏が本尊として祀られています。周辺一帯は、中世の山城跡が築かれています。

まがいぶつ
⑩磨崖仏

中宮菩提寺の本尊で、花崗岩の巨岩に不空羂索観音が中央部に掘られています。一面四臂の立像で、頭光が彫られています。右手には不動明王が新たに彫られています。

ちようぐう ほだいじ いしとうろう
⑪中宮菩提寺の石灯籠

中宮菩提寺の境内に建立された石灯籠で、左側は寛保1年(1714)に甘地與次衛門ほか4名により、右側は、延宝7年(1679)に建立され、「南無観世菩薩」の御宝前に奉納したとあります。



だいじようみょうてんいちじつせきとう
⑫大乘妙典一字一石塔

中宮の前面右側に建つ一字一石塔です。安永6年(1777)に佐嘉郡犬尾宿の原田甚左衛門が施主となり、菩提寺の一千五十年法界廻向塔婆として山主宝光坊現住慶道が建立しています。

ほだいじじょうあと
⑬菩提寺城跡

土器山の標高約300mの中宮菩提寺一帯と標高430mの山頂一帯に築かれた南北朝期の北朝方の拠点山城です。大小の曲輪と土塁が尾根上に設けられています。

ちようせき
⑭丁石(十三丁)

中宮より親不孝岩に至る登山道(参道)の脇に建つ丁石です。方柱形の石塔で、正面中央上部に「十三丁」と、その左右に年号と思われる銘文が線刻されていますが、詳細は不明です。

おやふこういわ
⑮親不孝岩

山岳修験の霊場とされた土器山には、花崗岩の巨岩が多数見られます。中宮の約50m上部には「親不孝岩」と呼ばれる巨岩があり、覗きの行が行われた岩と伝えられています。

じようぐう いわくら
⑯上宮 磐座

土器山山頂直下には、神が下りてくる磐座の巨岩があり八天狗信仰の上宮が祀られています。巨岩の間には多数の素焼きの皿が見られ、土器占いが行われていました。

土器山山頂からの眺望

山頂からは、北に脊振山を東に久留米方面、南に佐賀平野から有明海を望み、遠くに雲仙岳を望むことができます。西側の眺望は樹木により望めません。